

事業所名

すいっち

支援プログラム

作成日

2026 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		≪権利の尊重≫差別や偏見をなくし、社会三角の機会を平等に ≪共生できる社会≫すべての人が共に生活し、協力し合う社会を目標に				≪自立と自律の支援≫生活の中での自律を促進し、社会的な自立ができるように ≪個に合わせる支援≫障がいの特性やニーズに合わせる支援により、個人の能力や生活の質の向上のために			
支援方針		◎子どもの将来の自立・自立を目指して ・子どもが安心して過ごせる居場所作り	◎集団の中で社会性・コミュニケーション力を育てる ・日常生活の中で「基本的動作」「ルールやマナー」を学び習得を目指す	◎コミュニケーション能力の向上・獲得 他の子と双方向のコミュニケーションの場を通して、他の人とかかわる「良さ」を理解する	◎自分のことは自分でできる 個別の発達課題を理解し取り組みの中で「成功体験」の積み上げで自立心を育てる	◎個別に応じた学習支援 ・学習の苦手さの軽減、学習の習慣をつける			
営業時間		9 時	30 分	18 時	30 分	まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・健康の増進、基本的な生活習慣の獲得、一日の生活をリズム化するための支援を行う。 ・個々の基本的技能（食事・睡眠・衣類の着脱など）が獲得できるよう、実践の場を想定し、適切な支援をする。							
	運動・感覚	・スポーツと発達障がいの専門知識を持ったスポーツトレーナーによる運動支援により基礎的な筋力や体力を作り体の使い方を学ぶ。 ルダリング、バスケットボール、サッカー、野球、体幹トレーニング、鉄棒、マット等の体育科目、筋力作り、バランス等） ・個々が保有する感覚を十分に活用し、伸ばすための遊び等の機会を設け、積極的に活用するように支援する。 ・微細運動や巧緻性を育てる運動のプログラムを取り入れる。							（ポ
	認知・行動	・個々の認知の特性を理解し、多くの情報を選択し、適切に処理できる力が育つよう支援する。（情報処理能力の向上を目指す） ・コミュニケーション力の困難性から生じる予期しない行動を予知し、適切な行動につながるよう見守り・支援する。							
	言語 コミュニケーション	・学習で身につけた言語能力を生かし、適切な言葉で双方向のコミュニケーション力が育つように支援する。 ・コミュニケーションは、言葉だけでなく、指差し・身振り・サイン等も活用し、意識の伝達方法を広く捉え、様々な方法で意思伝達できるよう支援する。 ・読み書きなどに発達障がいのある子どもなどについては、障がい特性に応じた読解能力の向上のための支援を行う。							
	人間関係 社会性	・集団活動の中で、子ども同士が信頼感を持ち、役割分担やルールを守ることの大切さを知り、環境に対する安心感・信頼感・自分に対する自己肯定感を持てるように支援する。 ・自分のできることや苦手なことを理解し、気持ちや感情をコントロールし、状況に応じた行動ができるよう支援する。（入力と出力のバランスを考え、育てる） ・他人の気持ちや意図を理解し、自分の考えと折り合いをつけながら行動できるように支援する。							
	学習面・自己の学び	・学校生活で困難さを感じることがないように、基礎的基本的な学習能力が身につくよう支援する。 ・学習の苦手さを軽減し、学習の習慣をつける。 ・宿題やワーク等の提出物の進捗状況の確認を行う。また、それが自分で出来る様に支援する。							
家族支援		・家族が身近な地域の中で安心して過ごせるように支援や助言等を行う。 ・利用する子どもが通所してもらうことにより、保護者等が一時的に気分転換し、英気を養うことができるようにする。			移行支援		・卒業後やその他移行先にスムーズに行けるように、各関係機関との連携を図り相談・調整を行う。		
地域支援・地域連携		・各関係機関との連携を大切に考え、ライフステージにおいて、切れ目のない支援を行い、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援をする。			職員の質の向上		◎講師による研修（オンライン含め） ・発達障がい児の特性と支援のあり方 ・児童虐待の実態と対応について etc ◎内部研修・オンライン研修の活用 ・職員が自由に学べるオンライン研修 ・新人研修、内部研修の実施		
主な行事等		長期休みイベント等 ・施設見学…パルライス工場、テレビスタジオ見学 北大、オリンピックミュージアム etc ・季節の行事…ハロウィン、クリスマス イベント 節分、進級進学パーティー等			クッキング…家庭料理 デザート作り etc		・避難訓練…避難経路の確認 火災・地震・積雪時・防犯訓練		